

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	キャリア教育専門人材養成事業		担当部局庁	職業能力開発局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始		担当課室	キャリア形成支援室		キャリア形成支援室長 浅野 浩美	
会計区分	一般会計		政策・施策名	V-2-1 若年者等に対して段階に応じた職業キャリア支援を講ずること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	職業能力開発促進法第15条の2第1項第3号、同条第2項		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> <li>第9次職業能力開発基本計画</li> <li>日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)</li> <li>若者雇用戦略(平成24年6月12日合意)</li> <li>日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)</li> <li>今後の我が国の成長を支える若者・女性・高齢者の就業の在り方に関する提言(平成25年4月19日自民党雇用問題調査会)</li> </ul>			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	キャリア教育の充実を図る観点から、労働行政としてこれまで培ってきたキャリア・コンサルティングの専門性を活かし、キャリア教育の企画・運用を担う人材を養成する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	キャリア教育に関わる各地域の民間サポート機関(NPO等)のスタッフ、ジョブサポーター、教員等、キャリア教育やその支援に携わる者を対象とした、キャリア教育プログラムの企画・運営などの専門性を備えた人材養成のための講習を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	22	16	14	25	13
		補正予算					
		繰越し等					
	計	22	16	14	25	13	
	執行額	22	15	13			
執行率(%)	100	94	93				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	講習受講者アンケートで、講習で学んだ内容を「今後に活かせる」と回答した者の割合:9割以上	成果実績	%	92	93	96	90
		達成度	%	102	103	106	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	講習受講者数	活動実績	人	1,557	1,073	1,116	—
		(当初見込み)	人	940	1,000	1,000	1,000
単位当たりコスト	講習の実施 12.9(千円 / 人日)		算出根拠	単位当たりコスト=キャリア教育人材養成事業(24年度実績額)/講習受講者数(24年度実績)=13,000千円/1,116人日=11.6千円/人日			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	(目)職業能力開発支援事業委託費			中学・高校のキャリア教育を担う専門人材養成のための講習実施を24年度限りとしたことと大学等のキャリア教育を担う専門人材養成のための講習実施回数を削減したことに伴う減			
	講習の実施	11	6				
	講習準備・検討委員会	2	1				
	体制整備費	10	5				
	消費税	1	1				
	(目)諸謝金	0.5	0				
	(目)委員等旅費						
(目)庁費							
計	25	13					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	講習受講者の満足度が高く、ニーズに合致した内容となっていると判断される。本事業は国がキャリア教育のノウハウを有する民間団体と委託契約を結び、講習を実施するものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	平成23年1月の中教審答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」において、キャリア・カウンセリングを行う専門人材の配置や職業能力の開発・向上の促進等を担う厚生労働省との連携・協力等が提案されたことから、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	事業の目的と事業成果が直接的につながるものであると認識している。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	本事業の目的を達成するためには、事業の実施体制や講習の内容について、応募者の専門的知識やノウハウに基づく創意工夫による企画内容を評価することが相応しいことから、企画競争方式により調達を行っているところ。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	コスト削減に努めているものの、質の高い講習を出来るだけ全国各地で実施することを踏まえると妥当な水準である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	本事業は講習の開催等に係る経費が大部分を占めており、必要経費に限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	講習受講者の満足度が高く、また、事業目標に対して事業内容が、直接的な効果を上げており、目標を超える実績を出している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	成果物である講習テキストを厚生労働省のホームページに掲載する等、キャリア教育の普及に活用している。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	類似の事業はない。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・事業実施状況について定期的に報告を求めるとともに、講習受講者に対して、講習の満足度等を問うアンケートを記入させることにより、講習の質の向上に努めることとしている。これらを通じて、より少ない予算で一層の効率的・効果的実施を図ることとしており、今後とも事業の実施状況等を踏まえ必要に応じて見直しを行うもの。</p> <p>・本件事業においては、講習受講者数を活動指標としているところ、24年度においては当初見込みを上回る活動実績となっており、事業の目的に資するものと判断することができる。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者の点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	事業の必要性、執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効果的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年		平成23年	864	平成24年	746	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
13百万円

事業主体として事業全体の企画立案、  
進捗管理等



【企画競争・委託】

A. 特定非営利活動法人  
キャリア・コンサルティング協議会  
13百万円

キャリア教育専門人材養成講習テ  
キスト及びカリキュラムの開発、講  
習の実施等

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位: 百万  
円)

A. 特定非営利活動法人キャリア・コンサルティング協議会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	講師謝金、講師旅費等	8			
人件費	担当社員賃金	4			
管理費	通信費、光熱費等	0			
消費税	消費税	1			
計		13	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	キャリア・コンサルティング協議会	キャリア教育専門人材養成講習テキスト及びカリキュラムの開発、講習の実施等	13百万円	随意契約 (企画競争)	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					